

第5回 新進指揮者 コンサート

全自由席

2023 **12/5** TUE

三井住友海上しらかわホール
18:00〈開場〉 18:45〈開演〉

プログラム

ベートーヴェン：
交響曲第5番 ハ短調 作品67『運命』
.....〈岡田 健太〉
ドヴォルザーク：
交響曲第9番 ホ短調 作品95『新世界より』
.....〈今木 智彦〉



指揮 岡田 健太



指揮 今木 智彦

お問い合わせ／チケット取扱い

山田貞夫音楽財団事務局 ☎052-533-6708

管弦楽／セントラル愛知交響楽団

主催：



公益財団法人
山田貞夫音楽財団

第5回

新進指揮者コンサート



公益財団法人
山田貞夫音楽財団

Kenta Okada's profile



指揮 岡田 健太

滋賀県近江八幡市出身。立命館大学理工学部卒業。同大学の交響楽団で指揮を始め、卒業後は機械工学・ロボティクスの専門家として仕事をする傍ら、ファゴット奏者や指揮者として多くのアマチュア団体で活動。オーケストラへの情熱から自ら学習を続け、2023年には山田貞夫音楽財団主催の第5回指揮者オーディションにて特賞を受賞した。

2019年には自身が代表・指揮を務めるクライネスオーケストラを設立。プロ・アマチュアの垣根を越え、関西の音楽文化を牽引する新たな演奏家の誕生を目指している。活動の場は演奏に留まらず、講習会の主催やGenePlus代表として楽団の支援活動を行う。

これまでに指揮を阪哲朗氏、篠崎靖男氏、村上史昂氏に、ピアノを辻貴久代氏に師事。

Tomohiko Imaki's profile



指揮 今木 智彦

指揮者、ファゴット奏者。大阪府立夕陽丘高校音楽科、東京藝術大学、同大学院を経てスイス・ドムズ財団奨学金を授与され2013年カールスルーエ音楽大学大学院修了。

ファゴット奏者としては、ソリストとしてジャン = ジャック・カントロフ指揮ワルシャワ交響楽団、田中祐子指揮名古屋室内管弦楽団と共演。賞歴はフロインデンクライス-室内楽コンクール優賞、大阪国際音楽コンクール2位他。2008年東京でのリサイタルデビュー以降これまでに日本、韓国、ドイツ、オーストリア、スイスの数多くの音楽祭にソリスト、室内楽奏者、オーケストラ奏者として参加する他、ユードイ・メニューイン財団主催「ライブ・ミュージック・ナウ」など、内外で幅広く活動。指揮者としてはこれまでにセントラル愛知交響楽団をはじめ、オーケストラ・アンサンブル金沢、ジャパン・アカデミー・フィルハーモニック、名古屋室内管弦楽団、センチュリー室内管弦楽団、浜松交響楽団、東海メールクワイアーなどに登壇。

2018年、作曲家の新実徳英氏の新曲「Omnia Mutantur」「万物は流転する」の世界初演の際には副指揮者として携わり、公演の成功に貢献した。

2019年夏にはオペラ・クラシカ・ヨーロッパのツアーに招かれ、ルーマニア・コンスタンツァ国立歌劇場管弦楽団・同合唱団、ドイツ・ライン・マインフィルハーモニー管弦楽団、アメリカ・北コロラド大学合唱団と共にドイツ、ベルギーを巡り、各地でスタンディングオベーションの喝采を得た。現在はセンチュリー室内管弦楽団ミュージックアドヴァイザー、少年少女合唱団「空」の指揮者を務める他、小田原短期大学、椛山女学園などで後進の指導にあたる。

2024年4月よりセントラル愛知交響楽団アソシエイトコンダクターに就任予定。

セントラル愛知交響楽団

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2023年創立40周年を迎えた。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任(2024年度より音楽監督)。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。2020年度より公益財団法人山田貞夫音楽財団指揮者オーディション最優秀者をアソシエイトコンダクター(任期2年)に迎えており、2023年度は松川智哉、リカルド・A.ゴンザレスの両名が就任。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、第九公演の他「超!有名曲」「Wコンチェルト」の各シリーズを自主公演として展開。バレエ、オペラ等の依頼公演にも数多く出演し、独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を取める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。